

平成19年4月11日

高知県中央漁業指導所
高知県水産試験場 増養殖環境部

件名： 4月11日の野見湾プランクトン調査について

【注意！！！！！！】

コクロディニウム・ポリクリコイデスが、最高644 cells/ml出現しました。

湾奥から湾中央にかけて密度が高くなっています。

湾口部でも、昨日より若干多く出現しています。

本種は、他のプランクトンよりも比較的低い密度で影響があります。

(例えばカレニア・ミキモトイでは数千cells/ml程度が危険密度)

目安として、400 cells/ml程度で養殖魚に被害が発生するとされていますが、より低い密度でも警戒が必要です。

このため、海面が着色していなくても被害が発生することがあります。

また、今後、さらに増殖する恐れもあります。

(2004年4月に、野見湾で本種の赤潮が発生した際には、最高5,180 cells/mlが記録されています)

餌止めをするなど、養殖魚の管理には十分に注意してください。

なお、今回は有害種のみ計数しましたので、珪藻類などは計数していません。

1)調査結果

	観測層 (m)	クロロディニウム・ポリクリコイデス (cells/ml)
A 大谷 港内	2	46
	5	14
② 湾奥ブイ	2	644
	5	208
B 大室戸	0	580
	2	396
	5	198
③ 馬の背 1番口	0	40
	2	58
	5	104
③ 馬の背 2番口	0	72
	2	212
	5	212
③ 馬の背 3番口	0	124
	2	438
	5	146
④ ガラク 1番口	0	5
	2	21
	5	0
④ ガラク 2番口	0	18
	2	3
	5	2
④ ガラク 3番口	0	0
	2	0
	5	15
D 白浜	0	22
	2	25
	5	23
E 防波堤 外側	0	3
	2	12
	5	14

	観測層 (m)	水温 ℃	塩分	溶存酸素 mg/l
③ 馬の背 2番口	0	18.6	34.1	7.9
	2	18.5	34.1	7.9
	5	18.4	34.1	7.7
D 白浜	0	18.5	34.1	8.4
	2	18.4	34.1	8.1
	5	18.3	34.1	8.2
④ ガラク 2番口	0	18.4	34.1	7.2
	2	18.4	34.1	7.4
	5	18.3	34.1	7.2
E 防波堤 外側	0	18.3	34.0	7.6
	2	18.3	34.1	7.6
	5	18.3	34.1	7.5

